

体験活動参加型 講演会型+子育てサロン（子育て支援センター事業）

学校名等	岐阜市子育て支援センター事業 子育てセミナー
実施日時	令和元年8月24日（土）10時～12時
会場	市橋保育所
参加人数	14組の家族（両親参加は7組）
学習課題(分野)	講演「心と体を伸びやかに育むおもちゃ遊び」
運営者の願い 目的	岐阜市では子育て支援事業として子育てセミナーが市橋・京町・鷺山保育所の3か所で行われている。市橋保育所では毎月セミナーを行い、当日は講師を招いて土曜日の開催となっている。



学習の内容

講師：おもちゃコンサルタントマスター加藤理香氏

<おもちゃのお話>

- ・「おもちゃ」は手で持てる「おもちゃもの」からできたものです。
- ・「遊び」は遊び相手から広がります。既成のものでなく父母の車のキーケース（大事なもの）で遊ぶこともあります。
- ・遊ぶ時は声をかけて一緒に遊ぶことが大事です。教えることより子どものよさを見つけることが大事です。といったお話がありました。



<前半は、保護者の膝の上での遊び>

親が子どもの手を持ったり、歌に合わせて動いたり、タオルをふわふわと載せたり、ボールにしたり、リングドールにしたりします。



新聞紙を使った遊びとして、屋根や望遠鏡、引っ張り合い、クシャクシャにしたり、破ったりしました。5つの玉で「はらぺこあおむし」作り。「はらぺこあおむし」の絵本も読みました。

<後半は木のおもちゃ中心で、たくさんのおもちゃによる遊び>

- 木のおもちゃの色や触った感じを紹介されました。
- ・「木の違いは何?」「子どもはにおいをかぎます。」
- ・杉の木はやわらかくあたたかい。樫のような固い木は冷たい。

○おもちゃの紹介

- ・つみぼぼ：岐阜県産の杉、板谷楓等で作られています。
 - ・ひょうたん型のイブブロック、まあるいつみき・音鳴る積み木等岐阜県産のものが多くあります。
- 一つ一つの家族と講師が話す機会もあり、講師による歌や親子での遊びで充実した時間となりました。

<参加者の感想等>

- ・自分で遊び方を考えてやっている姿がうれしい。
- ・こんなに広い場所でこんなにたくさんのおもちゃで遊べてよかった。
- ・楽しかった。父：土日しか遊べないので、一緒に来れてよかった。
- ・満足度100%です。普段気づかないことを教えてもらいました。子どもよりも私たち大人の方が楽しみ、勉強させてもらいました。次回、機会があったらまた参加したいです。
- ・発育を促す遊びや心があたたかくなる遊びをして下さって楽しかったです。
- ・タオルや新聞など、身近なものを使用した遊びが知れてよかったです。家に既にある木のおもちゃも、改めて遊ばせたいと思いました。

○遊びがいっぱいで楽しい!

おもちゃコンサルタントマスターには認定NPO法人芸術と遊び創造協会にて研修を受けてなることができる。

身近にあるものはすべて遊びにつながられる。工夫次第であることがわかった。

絵本や遊び、歌等で子ども達も盛り上がった。

親子での遊びも体験でき有意義な時間となった。

○木のおもちゃがいっぱいで、遊びが工夫できた

「岐阜県以上に森林の面積の割合が大きい全国1位の県は?」。答えは高知県。木に関する学びがたくさんあった。

岐阜県産の木によって作られたおもちゃがたくさんあり、遊び方もいろいろで工夫がいっぱいできた。遊びに夢中になる子どもの顔がたくさんあった。

